

平成26年3月9日発行

## 東明が後期地区カプスで初優勝を飾る。

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カプスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カプスリーグU-15後期は、10月6日にブロックカプスルート決勝が行われました。決勝とは東明と永山南の対戦となりましたが、東明が19分に岩城の得点で先制すると、終了間際には澤田の2得点で永山南を振り切り初優勝を飾りました。地区カプスルートでは名寄SCがPK戦の末神居を振り切り連破を達成しました。

### ブロックカプスルート

10月6日(日) コンサフィールド東川

#### 決勝

東明 3-0 (1-0) 永山南

得点者 岩城 (19分), 澤田 (58分, 59分) (東)

警告 栢木 (東)

東明 GK山本佳 DF太田, 後藤, 山岡, 渡辺 MF栢木, 澤田, 栗原 (野村), 岩城, 藤田 (山本) FW宿谷 (谷垣)

永山南 GK小泉 DF前川, 大杉, 金 MF吉田翔心, 佐藤 (定岡), 鷺見, 浅見, 谷口 FW鈴木悠 (塚本), 森永, 樋口 (森永)

前半は両チームともに奪ったボールをシンプルに前線に送る展開となる。永南は、鈴木、樋口、東明は岩城、宿谷が狙うが相手DFのプレッシャーにあい、なかなかチャンスを作れない。19分東明は自陣で得たFKを山岡が相手ペナルティエリア付近にロングボールを入れると、永南DFがクリアしきれず、流れたボールを岩城がヘディングシュートで先制する。後半永南は森永をFWに入れ、左MF鷺見とともに両サイドのスペースを使い、中央の浅見、谷口と連携して攻め込む展開となる。攻め続ける永南に対して、東明DFは集中力を切らすことなく体を張って守る。さらに、DFのクリアを拾って岩城が度々シュートチャンスをカウンターから作り出す。終了間際カウンターから抜け出した澤田が58分、59分と連続得点し3対0の勝利。東明が初優勝を飾った。



### プレーオフ

附属 1-1 (1-1) <PK5-4> 愛宕

得点者 滝澤 (22分) (附) 滝ヶ平 (24分) (愛)

附属 GK小林 DF宮川, 藤井, 佐々木, 古高, 春木 MF海谷, 木村, 松本 (山下), 安尾 FW滝澤

愛宕 GK土田 DF窪田, 白石, 中田, 半田 MF石崎, 遠藤, 菅野, 萩原 FW滝ヶ平, 室井

序盤続けざまにCKを得るなど附属が優勢にゲームを進める。愛宕もタイトな守備で決定機を作らせない。均衡を破ったのは附属。中盤の混戦から抜け出した滝澤がGKの頭上を抜くシュートを決めて先制する。しかし2分後、愛宕は滝ヶ平がPKを決めて同点に追いつく。後半も附属がやや優勢ながら愛宕はGK土田の度重なる好守で得点を許さない。一進一退のまま後半が終了。延長戦に突入するが延長戦でも決着がつかず勝負はPK戦へ。PK戦では5対4で附属が勝ち、昨シーズンに続いてプレーオフを制し、チャレンジリーグへの出場権を得た。



### 地区カプスルート

準決勝 10月12日(土) 名寄健康の森

名寄SC 1-1 (6-0) 忠和2nd

得点者 渡邊 (2分, 8分, 16分), 山口 (26分), 佐藤陸 (29分, 52分), 相馬 (29分, 32分), 武田 (33分, 37分, 45分) (名) 芹川 (50分) (忠)

名寄SC GK水間 DF山口, 木原, 半田, 石谷 MF渡邊, 小栗, 佐藤誠

FW有澤 (森田), 武田, 佐藤陸

忠和 GK飛騨野 DF石坂, 山崎 (今野元), 竹馬, 梅村 (宮野) MF棚橋 (中西), 南向, 今野甲 FW芹川, 向山, 石田 (上西)

地区カプス準決勝 神居 1-1 (1-1) <PK3-1> 東川

得点者 中原 (27分) (神) 添田 (25分) (東)

警告 工藤 (神)

神居 GK山本 DF林, 松下, 菊池 MF岸谷, 安藤, 小山, 新井, 藤本 FW工藤 (野田), 中原

東川 GK阿部 DF高橋, 景井, 中谷, 千葉 (遠藤) MF黒川, 鈴木 (十河, 石倉), 添田, 松村 FW金山, 栗林

あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カプスルートの準決勝は10月12日に名寄健康の森と花咲球技場で行われました。名寄健康の森では2連覇を目指す名寄SCが忠和2ndと対戦。2分に渡邊が先制点を挙げると、8分にも渡邊が追加点。その後も着々と加点し、渡邊、武田がハットトリックするなど11点を奪って大勝しました。花咲球技場の神居対東川は、神居が左サイドの藤本のスピードを生かして攻撃しますが、東川も添田を中心に前半は押し気味に試合を進めます。25分、東川は高橋のFKに栗林が合わせ、ゴール前に詰めていた添田がプッシュして先制します。しかし神居も27分、藤本のクロスから中原が豪快に決めて同点に追いつきます。試合はそのままPK戦に突入。3対1で神居が勝ち、2年連続で決勝に進みました。



地区カプスルート決勝 10月20日(日) 花咲球技場

名寄SC 2-2 (1-1) <PK5-3> 神居

得点者 渡邊 (3分), 0-G (46分) (名) 藤本 (14分, 52分) (神)

名寄SC GK水間 DF山口, 木原, 半田, 石谷 MF渡邊, 小栗, 佐藤誠 FW有澤, 武田, 佐藤陸

神居 GK山本 DF林, 松下, 菊池, 岸谷 MF安藤, 小山, 新井, 藤本, 中原 FW三浦 (工藤)

昨年度と同一カードの決勝戦。神居はDFラインから名寄SCのオフサイドトラップの裏をねらうように、ロングフィードを重ね、スピードのある新井や、藤本が走り込んでチャンスを狙う。一方の名寄SCは、渡邊、小栗を中心としながら中盤で丁寧なパスをつなぎ崩しにかかる。3分名寄SCは右サイドのスルーパスに渡邊が抜け出し落ちていて決めて先制する。神居も14分右サイドから中央へスルーパスが出、藤本が抜け出し同点に追いつく。両チームともタイトルを意識して、厳しいプレッシャーをかけあう好ゲームとなる。

後半も名寄SCは渡邊、小栗らを中心に攻勢に出る。46分名寄SCは左サイドを小栗が鋭い突破し、センタリング。これが神居の0-Gを誘い再びリードを奪う。しかし、神居も前線へのロングフィードからチャンスをつかみ、52分ペナルティエリアやや右外で得たFKを菊池が入れるとゴール前で藤本がボレーで合わせて再び同点に追いつく。試合は60分で決着がつかず延長戦に突入。名寄SC渡邊、神居藤本がゴールに迫るが、名寄SC GK水間、神居GK山本の好守で互いに得点を奪えず優勝をかけてPK戦へ。PK戦ではGKに入った渡邊が神居のキックを止め、5対4で名寄SCが連覇を果たした。





平成26年3月9日発行

## 枝幸、稚内南の宗谷勢が好スタート！ 第3回旭川・道北チャレンジリーグ

2014年度道北ブロックカブスへの参入を決定する第3回旭川・道北チャレンジリーグは10月12日に名寄健康の森などで開幕しました。13日の第2節を終え得た時点で、枝幸、稚内南の宗谷地区のチームが1勝1分けと好スタートを切りました。

第1節 10月12日（土）名寄健康の森

B 枝 幸5-0（3-0）忠 和

得点者 木村（15分、57分）、横内（22分、26分）、大友（37分）（枝）

枝 幸 GK 戸田 DF 佐藤、清水、馬酔木、白取 MF 木村、和田、横内（池田）、柴田  
FW 能澤（樋口）、大友

忠 和 GK 宇野 DF 山崎（竹馬）、富野、今野 MF 石坂、南向、鈴木、上西、大浪  
FW 中西（棚橋）、芝崎

B 稚内南7-0（4-0）神 楽

得点者 O・G（8分、26分、38分）、日詰（16分、31分）、吉田（25分、36分）（稚）

稚内南 GK 高木 DF 相原悠（坂本）、辻口（佐藤侑）、大江 MF 北川（上野）、成田、  
中野（佐々木）、蝦名 FW 吉田（高橋）、日詰（小野寺、浅野）、  
高木（相原康）

神 楽 GK 山本 DF 林大、濱田、石井（佐々木）、吉田 MF 三浦、林輝、  
大村（平野） FW 藤本、畠山、西川

花咲球技場

A 啓 北6-1（5-0）上富良野

得点者 大友（7分、31分）、横山（9分、11分）、藤原（17分）、鈴木（26分）（啓）  
林（52分）（上）

啓 北 GK 平野充 DF 久保田、平野友（菊地）、上野、若田 MF 秋葉、鈴木、  
藤原（深見）、工藤 FW 横山、大友

上富良野 GK 岸田 DF 増子、畑内、藤澤、湯葉（菊地）、田中 MF 遠藤、江嶋、佐藤  
FW 松田、林

第1節は名寄健康の森と花咲球技場で3試合が行われました。名寄健康の森の第1試合は枝幸が忠和と対戦。序盤は忠和が押し気味に試合を進めますが、15分枝幸は木村のロングシュートで先制すると、22分には和田のスルーパスから横内が追加点をあげます。さらに、26分にも横内が追加点をあげます。後半には和田の2アシストから大友と木村が得点し5対0で第1戦を飾りました。第2試合は稚内南が中野、成田を中心に終始押し気味に試合を進めます。8分にO・Gで先制すると、16分には日詰がGKをかわして2点目。25分には蝦名のアシストから吉田が3点目をあげます。その後も着々と加点した稚内南が7対0で圧勝しまし



た。花咲球技場での啓北と上富良野は雨中での対戦となりました。7分横山のスルーパスから大友が先制すると、9分、11分には横山が連続得点。17分には藤原、26分には鈴木がPKで5対0でリードした啓北が後半にも大友の得点で6点。上富良野も林を中心に後半は反撃しましたが、52分の1点のみとなり、6対1で啓北が勝利しました。

第2節 10月13日（日）コンサフィールド東川

A コンサ旭川5-0（4-0）上富良野

得点者 渡部（7分）、谷口明（9分、12分）、森川（29分）、清野（47分）（コ）

コンサ GK 鴨川 DF 森川、谷口楓、上杉、鈴木、斉藤 MF 板谷、石澤、渡部  
FW 外館、谷口明 交代/GK 山田 FP 福地、清野

上富良野 GK 岸田 DF 増子、畑内、藤澤、湯葉、田中 MF 遠藤、江嶋、佐藤  
FW 松田、林

A 永山南2-1（1-0）附 属

得点者 大杉（16分）、O・G（49分）（永）松本（37分）（附）

永山南 GK 野澤 DF 大杉、土田、前川 MF 吉田、浅見、須藤、塚本 FW 樋口、鈴木、  
森永

附 属 GK 小林 DF 藤井、古高、森、稲尾 MF 宮川、松本、川上裕、山下、安尾  
FW 石崎

B 忠 和1-0（0-0）東 明

得点者 鈴木（59分）（忠）

忠 和 GK 宇野 DF 宮野、竹馬、今野 MF 石坂、南向、鈴木、上西、大浪 FW 中西、  
芝崎

東 明 GK 木村圭 DF 斉藤、田中、谷内、畠山 MF 山本（木村恭）、谷垣、野村、  
飯田、藤田 FW 宿谷

稚内若葉台

B 枝 幸1-1（1-0）稚内南

得点者 和田（21分）（枝）成田（37分）（稚）

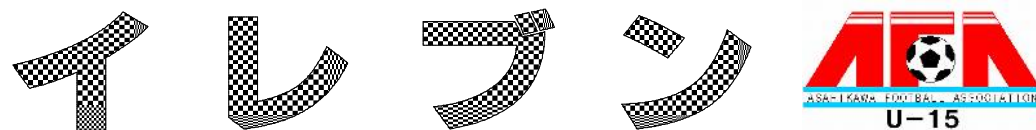
枝 幸 GK 戸田 DF 佐藤、清水、馬酔木、白取 MF 木村、和田、横内、柴田  
FW 能澤、大友

稚内南 GK 高木 DF 相原悠（坂本）、辻口、大江 MF 北川、成田、中野、蝦名  
FW 吉田、日詰、高木

第2節は10月13日コンサフィールド東川と稚内若葉台で4試合が行われました。コンサフィールドの第1試合では、細かいパスワークで上富良野守備陣を崩しにかかるコンサが、7分渡部の得点で先制します。9分、12分には谷口明が連続得点し点差を広げると、29分には森川、47分には清野と加点。上富良野も林にボールを集めカウンターを狙いますが及ばずコンサが5対0で快勝しました。永山南は前線から厳しいプレッシャーをかけ、主導権を握ります。16分大杉のFKが直接ゴールインし永山南が先制しますが、附属もFKからのこぼれ球を松本がつめて37分に同点に追いつきます。しかし、永山南は49分O・Gで決勝点を奪い勝ち点3をあげました。第3試合は忠和が右サイド中西の飛び出しから押し気味に試合を進めます。東明も粘り強い守備を見せ後半はペースをつかみませんが、59分CKからのこぼれ球を忠和鈴木が決勝点を蹴り込み初勝利をあげました。

稚内若葉台では、昨日大勝した稚内南と枝幸が対戦。稚内南は成田、枝幸は木村を中心にゲームを展開。21分枝幸は和田が中央を突破し、DF3枚をかわして先制点を奪います。しかし、稚内南は37分PKを成田が決めて同点に追いつきます。なおも風上の稚内南が押し気味に試合を進めますが、試合は1対1のドローに終わりました。





平成26年3月9日発行

## 枝幸、コンサがブロックカブスに近づく！ 第3回旭川・道北チャレンジリーグ

2014年度道北ブロックカブスへの参入を決定する第3回旭川・道北チャレンジリーグは10月14日、19日に名寄健康の森などで第4節までを終えました。好スタートをきった枝幸と稚内南は第3戦も快勝しました。また、コンサドーレ旭川も順調に3連勝し、ブロックカブス入りに近づきました。

第3節 10月14日(月) 名寄健康の森  
B 稚内南5-0(1-0) 東明  
得点者 成田(13分, 35分), 吉田(32分, 58分), 樋口(33分)(稚)  
稚内南 GK高木(佐藤成) DF坂本, 辻口(相原悠), 大江 MF北川(上野), 成田, 中野(相原康), 蝦名(小野寺) FW吉田, 日詰, 高木  
東明 GK木村圭 DF斉藤, 田中, 谷内, 畠山 MF山本(小関), 谷垣, 野村, 飯田(小林), 藤田 FW宿谷

### 花咲球技場

A コンサ旭川1-0(1-0) 附属  
得点者 斉藤高(17分)(コ)  
コンサ GK鴨川 DF森川, 上杉, 鈴木, 斉藤高 MF板谷, 石澤(清野), 渡部, 谷口楓 FW外館, 谷口明  
附属 GK小林(阿野) DF藤井, 古高, 森, 稲尾 MF宮川, 松本, 川上裕, 山下, 安尾 FW石崎(牧野)

第3節は10月14日に名寄健康の森と花咲球技場で2試合が行われました。花咲球技場のコンサ旭川と附属は、コンサが圧倒的にボールを支配。渡部, 板谷が中盤でポゼッションしながら、外館, 谷口明にくさびのボールを入れながら、附属守備陣を崩しにかかります。しかし、附属も森, 稲尾のCBを中心に体を張った守備で対抗します。17分コンサは渡部のCKを起点に最後は斉藤高がミドルシュートを決め先制します。これが決勝点となり、連勝を果たしました。

名寄健康の森での稚内南と東明は、成田を中心に細かくパスをつなぐ稚内南が優勢に試合を進めます。13分40mの成田のセンターリングがそのままゴールインし先制すると、32分には坂本, 成田とつなぎ最後は吉田が2点目。さらに33分には樋口がCKのボールから3点目を決めます。その後も35分日詰のCKを成田がヘッドで決めると、58分には吉田がため押しの5点目をあげ5対0で大勝。2勝1分けとし、ブロックカブス参入に大きく近づきました。



第4節 10月19日(土) 名寄健康の森  
B 枝幸8-0(4-0) 東明  
得点者 和田(1分, 9分, 56分), 馬酔木(13分), 能澤(27分), 木村(37分, 59分), 大友(43分)(枝)

枝幸 GK戸田 DF佐藤, 清水(高橋雅), 馬酔木, 白取 MF木村, 和田, 横内(桔梗), 柴田 FW能澤(池田), 大友  
東明 GK木村圭 DF斉藤, 田中(塚田), 谷内, 畠山 MF山本, 谷垣, 野村, 小林(飯田, 富澤) FW藤田, 宿谷

### 花咲球技場

B 神楽2-2(2-0) 忠和  
得点者 畠山(1分), 石井(23分)(神) 芝崎(49分), 大浪(59分)(忠)  
神楽 GK山本(花海) DF林大(坂本), 濱田, 石井(岡本美), 吉田 MF岡本青, 三浦(大村), 林輝, 佐々木 FW藤本, 畠山(西川, 平野)  
忠和 GK宇野 DF宮野, 竹馬(山崎), 今野 MF石坂, 鈴木, 上西, 大浪, 棚橋(南向) FW中西, 芝崎

A 啓北2-0(1-0) 附属  
得点者 工藤(19分), 横山(42分)(啓)  
啓北 GK平野充 DF久保田, 若田(平野友), 菊地, 上野, MF鈴木, 藤原, 深見, 工藤 FW横山, 大友  
附属 GK小林(阿野) DF藤井, 古高, 森, 稲尾 MF宮川, 海谷, 松本(金澤), 山下(遠藤), 牧野 FW石崎(松ヶ瀬)

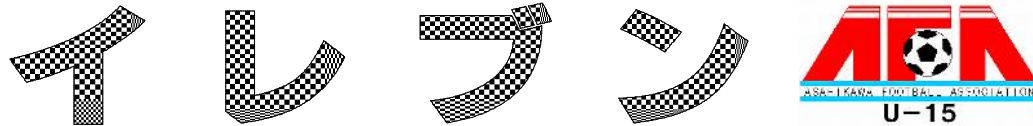
A コンサ旭川1-0(0-0) 永山南  
得点者 福地(45分)(コ)  
コンサ GK鴨川 DF森川, 上杉, 鈴木, 谷口楓 MF板谷, 石澤, 渡部, 清野(福地) FW外館, 谷口明  
永山南 GK野澤 DF大杉, 土田, 前川 MF吉田, 須藤, 塚本, 伊藤(長屋) FW樋口, 鈴木, 森永

第4節は10月17日に名寄健康の森と花咲球技場で4試合が行われました。名寄健康の森では枝幸が東明と対戦。1分に木村のアシストから和田が先制点を奪うと、9分には清水のセンターリングを和田が2点目。その後も着々と加点した枝幸が8対0で大勝。ブロックカブス参入に向けて大きく前進しました。

花咲球技場の第1試合では神楽と忠和が対戦。1分藤本の左からのセンターリングを畠山がアウトサイドでダイレクトに合わせて神楽が先制します。さらに23分には林輝のCKから石井が追加点を奪います。後半忠和は南向を投入。その南向と鈴木が中盤を制圧し始め、芝崎のポストプレーから形勢は逆転します。49分芝崎が直接FKを決めると、追加タイム

には芝崎の突破から大浪が同点シュートを決めドローに終わりました。しかし、このドローにより、得失点差で大きくリードする宗谷の2チームが優位な立場となりました。第2試合は啓北が附属と対戦。附属は攻撃では左サイドから山下がスピードあるプレーで啓北守備陣を脅かします。さらに守備では森, 稲尾を中心に厳しいディフェンスで啓北にシュートチャンスを与えません。それでも啓北は鈴木を中心に攻撃。19分鈴木のスルーパスから工藤がGKの頭上越しにループシュートを決めると、42分には上野の右クロスから最後は横山が押し込んで2対0の勝利。2勝目をあげました。グループAの天王山永山南とコンサは、序盤こそ樋口, 森永らのスピードに苦慮したコンサですが、徐々に渡部, 板谷を中心にポゼッションを高めます。後半には谷口明にも質の高いボールが供給され始め、渡部が中盤で決定的な仕事をし始めます。そして、45分板谷の逆サイドへのパスから福地が相手DFをかわしてGKの頭越しに決勝点をあげました。守備では永山南の攻撃陣をDF上杉を中心に零封。貴重な勝ち点3をあげ、ブロックカブス入りに大きく近づきました。





平成26年3月9日発行

2014年度道北ブロックカブスへの参入を決定する第3回旭川・道北チャレンジリーグは全日程を終え、枝幸、稚内南、コンサ、啓北の4チームがブロックカブス参入を決めました。

第5節 10月20日(日) 名寄健康の森

B 枝 幸4-0 (1-0) 神 楽

得点者 和田 (2分), 木村 (41分), 大友 (44分), 能澤 (59分) (枝)

枝 幸 GK 戸田 DF 佐藤, 清水 (高橋雅), 馬酔木, 白取 MF 木村, 和田,

横内 (桔梗), 柴田 FW 能澤, 大友

神 楽 GK 山本 DF 林大, 濱田, 吉田 (大村), 佐々木 MF 岡本青, 三浦 (岡本美), 林輝, 石井 (西川) FW 藤本, 畠山

花咲球技場

A 啓 北2-0 (2-0) 永山南

得点者 横山 (7分, 27分) (啓)

啓 北 GK 平野充 DF 久保田, 平野友, 菊地, 上野, MF 鈴木, 藤原, 深見, 工藤

FW 横山, 大友

永山南 GK 野澤 DF 大杉, 土田, 前川, 長屋 MF 吉田, 須藤, 塚本 FW 樋口, 鈴木, 森永

A 附 属3-0 (2-0) 上富良野

得点者 牧野 (11分), 金澤 (15分), 松本 (58分) (附)

附 属 GK 小林 DF 藤井, 古高 (青山), 森 (川上裕), 稲尾 MF 宮川, 海谷, 松本, 牧野 FW 石崎, 金澤 (松ヶ瀬)

上富良野 GK 岸田 DF 増子, 畑内, 藤澤, 田中 MF 遠藤, 江嶋, 佐藤 FW 松田, 林

第5節は名寄健康の森と花咲球技場で3試合が行われました。名寄健康の森では枝幸と神楽が対戦。勝てばブロックカブス参入が決まる枝幸は、2分和田がペナルティエリア外からミドルシュートを決めて先制します。その後も木村を中心に枝幸が終始押し気味に試合を進め、41分には木村が追加点を奪うと、44分にはドリブルから大友が3点目のゴールをあげます。神楽も左サイドを崩しにかかりますが、得点を奪えず。追加タイムには能澤がだめ押しで4点目をゲットし、4対0で快勝。ブロックカブス参入を決めました。

花咲球技場の第1試合では啓北と永山南が対戦。7分啓北は相手のパスをカットした横山が先制点を奪います。その後は永山南が押し気味に試合を進め、森永が相手DFの裏に飛び出しチャンスをつかみませんが、啓北も久保田を中心に集中した守備を見せ、GK平野充の好守もあり得点を許しません。そして27分には横山が貴重な追加点。後半永山南も森永が好シュートをはなつても得点できず、啓北が2対0で永山南に勝利。この結果、グループAから啓北とコンサのブロックカブス残留が決まりました、第2試合は、附属が牧野らの得点で3対0で上富良野を破り、初勝利をあげました。

第6節 10月26日(土) 名寄健康の森

B 忠 和3-3 (1-1) 稚内南

得点者 上西 (13分), 芝崎 (49分), 鈴木 (54分) (忠) 吉田 (17分, 31分), 蝦名 (51分) (稚)

忠 和 GK 宇野 DF 宮野, 山崎 (竹馬), 今野 MF 石坂, 鈴木, 上西, 大浪, 南向

FW 中西 (棚橋), 芝崎

稚内南 GK 高木 DF 相原悠, 辻口, 大江 MF 北川 (坂本), 成田 (相原康), 中野,

蝦名 (小野寺) FW 吉田, 日詰, 高木

花咲球技場

B 神 楽5-1 (2-1) 東 明

得点者 藤本 (7分, 28分), 西川 (31分), 林 (54分, 59分) (神) 宿谷 (17分) (東)

神 楽 GK 花海 (山本) DF 林大, 濱田, 吉田, 佐々木 MF 岡本青 (大村), 三浦, 林輝, 西川 (石井) FW 藤本, 畠山 (岡本美)

東 明 GK 木村圭 DF 斉藤, 田中 (小林), 谷内, 畠山 MF 山本 (飯田), 谷垣,

野村, 藤田, 西多 FW, 宿谷

A

コンサ旭川2-1 (0-1) 啓 北

得点者 谷口明 (39分, 52分) (コ) 藤原 (10分) (啓)

コンサ GK 山田 DF 森川 (斉藤高), 上杉, 鈴木, 谷口楓 MF 板谷, 石澤, 渡部, 福地 (清野) FW 外館, 谷口明

啓 北 GK 平野充 DF 久保田, 平野友, 若田, 上野, MF 鈴木, 藤原 (細川), 深見, 工藤 (秋葉) FW 横山, 大友

A 永山南4-0 (3-0) 上富良野

得点者 森永 (12分, 16分, 23分), 吉田 (39分) (永)

永山南 GK 野澤 DF 大杉, 土田 (伊藤), 前川 MF 吉田, 浅見, 須藤, 塚本

FW 樋口, 鈴木 (野原), 森永 (長屋)

上富良野 GK 岸田 DF 増子, 畑内, 湯葉, 田中 MF 遠藤, 江嶋, 佐藤

FW 松田, 林, 菊地

チャレンジリーグ最終節は10月26日(土)に名寄健康の森と花咲球技場で4試合が行われました。名寄健康の森での稚内南と忠和は、芝崎を走らせチャンスを作る忠和が、13分に上西のゴールで先制します。しかし稚内南は17分、中野のお膳立てから吉田が同点シュートを決めます。31分には蝦名からのスルーパスを受けた吉田が逆転ゴールを決めます。しかし忠和も49分、南向のCKを芝崎がダイレクトのボレーで決めて同点に追いつきます。稚内南は51分FKの混戦から蝦名が押し込んで再びリードを奪いますが、粘る忠和も54分、鈴木が35mのロングシュートを決めドローに持ち込みましたが、稚内南がブロックカブス参入を決めました。



花咲球技場の第1試合では、神楽が東明と対戦。岡本美が中盤をつくり、左サイドの林輝の突破から藤本がシュートを狙う神楽は、7分に林輝のパスから藤本が決めて先制します。東明も野村のゲームメイクから、藤田、宿谷のカウンターでチャンスをつくり、17分には野村のアシストから宿谷が同点弾を決めます。28分には林輝のCKに藤本が合わせて再びリード。31分に藤本のパスから西川が追加点をあげると、54分、59分には林輝が連続得点し5対1で快勝しました。第2試合は1位をかけて啓北とコンサが対戦。コンサは渡部を中心にパスワーク。渡部は至る所に顔を出しコンサのリズムを作ります。啓北は横山のスピードを生かして左サイドを崩しにかかります。10分啓北は横山がハーフウェーから左サイドをドリブルで突破し、折り返したところを藤原がゲットして先制します。しかし、谷口明にボールが収まり始めたコンサは、外館とのコンビネーションからリズムをつかみません。39分渡部のポストプレーから谷口明が同点シュートを決めると、52分には渡部を起点に再び谷口明が逆転ゴールをあげグループ1位となりました。第3試合は森永のスピードを生かした永山南が森永のハットトリックと吉田の得点で4対0で勝利。上富良野も林が攻め込みましたが及びませんでした。

ポ	A	コンサ	啓 北	永山南	附 属	上富良	勝点	得点	失点	得失差
	コンサ旭川		○2-1	○1-0	○1-0	○5-0	12	9	1	8
	啓 北	●1-2		○2-0	○2-0	○6-1	9	11	3	8
	永山南	●0-1	●0-2		○2-1	○4-0	6	6	4	2
	附 属	●0-1	●0-2	●1-2		○3-0	3	4	5	-1
	上富良野	●0-5	●1-6	●0-4	●0-3		0	1	18	-17
	B	枝 幸	稚内南	忠 和	神 楽	東 明	勝点	得点	失点	得失差
	枝 幸		△1-1	○5-0	○4-0	○8-0	10	18	1	17
	稚内南	△1-1		△3-3	○7-0	○5-0	8	16	4	12
	忠 和	●0-5	△3-3		△2-2	○1-0	5	6	10	-4
	神 楽	●0-4	●0-7	△2-2		○5-1	4	7	14	-7
	東 明	●0-8	●0-5	●0-1	●1-5		0	1	19	-18